

## 社会1年「戦国時代の城」 M. H教諭

中世の学習（戦国時代）のまとめをしながら、次の近世の学習（安土桃山時代）につないでいく上で、城の変化に着目した発展的な学習。時代の流れを、城を通して包括的に学ぶことが可能となる。



松本城や安土城を提示

### 【授業の流れ】

- (1) 日本の城には、「山城」と「平城」があることを知る。

日本の城のほとんどは山城であることを知り、城＝天守閣という、生徒が持っているイメージの逆転をねらう展開。



- (2) 中心課題を提示

「山城と平城の違いから、戦国大名の政策について考える。」

「山城」のメリット・デメリット

守りやすく攻めにくい。

ふだんは山城のふもとの町に住み、戦のときに山城に立てこもる。

- (3) 時代の流れとともに、「山城」から「平城」へと変化していった理由を考える。

「近世の特色」

- 戦い方の変化（鉄砲伝来）
- 国づくりの拠点（経済面）
- 天守閣や堀（権威の象徴）



自分の予想をテンポよく指名し発表させるが、あえて正解は言わず、クロームブックで様々な研究を調べさせる。



情報収集・選択する力



- (4) 身近な地域の歴史

伊達政宗の仙台城はどのような位置付けとなるだろうか。

本校の今年度の重点目標

【授業改善】「自己との対話から学びを深め、他者を意識した表現を工夫する生徒の育成」